

JPPF事務局 報告

広報委員会／マーケティング委員会

マーケティング委員会

2025年度振り返り

- 佐藤が年間通じて活動（アジパラ／JPPFの2足のわらじ）
- 訪問活動に加え、種まきや需要調査として「つながりを広げる」アプローチも実施（セミナー参加等）
- DMや直接アプローチからは結実できず、紹介案件からの契約ばかりとなった
- 契約にはつながらずも顔つなぎとしての訪問や活動も実施
（松竹、東銀座まちづくり推進協議会、クボタスピアーズ、産経新聞ふくのわプロジェクト）
- 11月には企業交流会として協賛企業間につながり創出と結びつき強化を実施
- 全日本選手権ではブース出展とFOP看板、パンフレット広告掲載を実施（スポンサーメリット）

マーケティング委員会

- 2025年度実績：9件 465万円相当の協賛（うち協賛金としては6件 255万円）
- 物品協賛に加え、協賛金としての契約を増やしていくことが課題

■協賛

#	企業・団体名	カテゴリ	協賛種類	金額（万円）	きっかけ
1	DENBA JAPAN株式会社	連盟オフィシャルサポーター	協賛金	25	東京都マッチング
2	PR TIMES	連盟オフィシャルパートナー	物品協賛	90	対面イベント（セミナー）
3	マツシマホールディングス	大会シルバーパートナー	協賛金	50	京都既存
4	ワタキューホールディングス	大会ブロンズパートナー	協賛金	10	京都既存
5	第一実業株式会社	連盟オフィシャルパートナー	協賛金	100	選手所属先
6	株式会社ベネクス	連盟オフィシャルパートナー	物品協賛	90	DM
7	KEAN Health株式会社	連盟オフィシャルサポーター	物品協賛	30	対面イベント（スポルテック）
8	環境管理センター	大会内施策協賛（ハリセン）	協賛金	20	東京都マッチング
9	株式会社VEEMO	大会シルバーパートナー	協賛金	50	パラコネクト
				465	含む物品協賛
				255	協賛金のみ

マーケティング委員会

2026年度に向けて

- 佐藤が担当交代（アジパラ専任に）
- ピンチヒッターとして「朝日崇晴」氏が担当
- 佐藤知人で営業経験とスポーツ領域の関心があり、業務委託で動ける方として打診
- 2025年度の活動をベースに、新たな視点やつながりからの発展に期待
- 佐藤もチャレンジカップ等スポットでは参加